

2026年2月19日

東日本旅客鉄道株式会社

Greater Shinagawa

広域品川圏の共創まちづくり 2026年3月28日 本格始動！

～広域品川圏を都市生活のイノベーションが生まれる先進エリアへ～

- JR 東日本グループが浜松町駅から大井町駅で展開する「広域品川圏（Greater Shinagawa）」の共創まちづくりが、2026年3月28日（土）の「TAKANAWA GATEWAY CITY」のグランドオープン及び「OIMACHI TRACKS」のまちびらきで、いよいよ本格始動します。
- JR 東日本グループは、広域品川圏を「都市生活のイノベーションが生まれる先進エリア」として捉え、地域、企業、大学等の様々な関係者と共創して、広域品川圏の先進性・エリア価値向上に資する取り組みを展開していきます。
- 広域品川圏においては、Suica を都市生活におけるイノベーション・デジタル基盤として位置づけ、都市生活のイノベーション（ライフスタイルトランスフォーメーション以下「LX」）を実現していきます。

1. 都市生活のイノベーションが生まれる先進エリア「広域品川圏」2026年3月28日始動！

JR 東日本グループは、各駅を中心に展開するえきまち開発を「点」ではなく、開発が連鎖的に進むこのエリア一体を「都市生活のイノベーションが生まれる先進エリア」と捉えることで、日本・世界に向けて唯一無二のプレゼンスが発揮できると考えています。広域品川圏では、Suica を都市生活における「イノベーション・デジタル基盤」として位置づけ、モビリティの未来を拓く挑戦（立体 MaaS 構想）等、このエリアのさらなる先進性・エリア価値向上に資する都市生活のイノベーション（LX）を先駆的に起こす取り組みを展開し、このエリアが、昼夜を問わず、世界中の人々が訪れ、滞在し、回遊し、再び訪れていただく、都市循環の構築に貢献していきます。



2. イノベーション・デジタル基盤「Suica」が牽引する「都市生活」のイノベーション(LX)

(1) Suica の進化による、「駅とまちのイノベーション」

JR 東日本グループは、広域品川圏を舞台に、Suica をデジタル基盤に「駅」と「まち」の当たり前を越えた「えきまち」一体によるシームレスな移動・都市生活のイノベーションを先駆的に実現していきます。

① STEP1 : 「えき」と「まち」の情報をつなぐ

2026 年 3 月 28 日より、改札の「タッチ」を契機に「広域品川圏コミュニケーションポータル」を通じて、「まち情報」を配信するサービスを実証開始します。TAKANAWA GATEWAY CITY、OIMACHI TRACKS、WATERS takeshiba の「まち情報」に加えて、順次、地域、商店街等に範囲を拡大していきます。「えき」と「まち」の情報をつなぎ、新しい回遊創出による顧客体験価値最大化と地域経済活性化のモデル創出を目指します。

② STEP2 : 「えき」と「まち」の空間をつなぐ

2027 年春には、広域品川圏の 5 駅において、UWB※¹を組み込んだウォークスルー改札の実証試験※²を行い、「えき」と「まち」をシームレスにつなぐ未来を実現してまいります。

※¹UWB (Ultra-Wide Band) は高精度な位置測位などに特徴を持つ無線技術です。

※²2027 年春の実証試験に先立ち 2026 年 3 月 28、29 日に OIMACHI TRACKS で、5 月 13、14 日に、TAKANAWA GATEWAY CITY で「ウォークスルー改札」の体験会を実施します。



(2) Suica の進化とモビリティの進化による、「移動のイノベーション」(立体 MaaS 構想)

JR 東日本グループは、広域品川圏の先進性・エリア価値向上に資するために、自動運転の実証実験や環境負荷の少ないエネルギーを採用した水素バスの活用、移動そのものが観光資源になる水上交通、並びに、空飛ぶクルマ等、モビリティの未来を拓く必要な実証を共創パートナーと取り組み、陸・海・空の「立体 MaaS」の実現を目指します。



① 『陸』・先端技術を駆使した自動運転バスの走行実証

広域品川圏の本格始動に合わせ、KDDI と JR 東日本は、次世代モビリティの実現に向けた共同プロジェクトとして、3 月下旬から初めて自動運転バスで高輪エリアと竹芝エリアを結ぶ走行実証を開始します。自動運転技術、通信、遠隔監視、TAKANAWA GATEWAY CITY の街アプリなど両社の強みを掛け合わせることで、広域品川圏における新たな移動体験の創出と都市の価値を向上させ、未来の「あたりまえ」を先取りするプロジェクトとなります。



② 『陸』・ゼロ・エミッションモビリティ水素シャトルバス OIMACHI TRACKS へ運行開始

3 月 28 日の「広域品川圏本格始動」にあわせ、WATERS takeshiba と TAKANAWA GATEWAY CITY を結んで運行している「JR 竹芝水素シャトルバス」と接続するかたちで、TAKANAWA GATEWAY CITY と OIMACHI TRACKS を結ぶ水素シャトルバスを試行的に平日限定で運行を開始します。また、4 月 1 日からは 既存のルートをめぐる便が新たに新橋へ停車します。本バスは走行時に CO₂を排出しないゼロエミッション・モビリティであり、運行により来街者の利便性向上とともに、先進技術による環境価値を体感する移動体験を提供します。



③ 『海』・移動が観光資源になる水上交通の実証

文化体感モビリティ 竹芝発！春を感じる さくらクルーズ の期間限定運行【3/28、29、4/4、5（予定）】

広域品川圏の本格始動に合わせ、WATERS takeshiba 発着で「竹芝発！春を感じる さくらクルーズ」を期間限定で運行します。東京湾から目黒川へ向かう特別航路により、水辺から桜を楽しむ格別な移動体験を提供します。舟運を、移動手段としてではなく、文化体験・観光をつなぐ新しいエンターテインメントモビリティとして、水辺の滞在価値を高める回遊ルートの形成を進めていきます。また、竹芝地区の利便性向上のため、羽田空港と竹芝地区を結ぶ「羽田空港アクセス船」(事前予約制)の実証実験を行っています。



④ 『空』・エアモビリティを主体にした立体 MaaS 構想への挑戦

モビリティの未来を拓くイノベーションとして、「空飛ぶクルマ」の社会実装推進に取り組みます。そして、陸・海・空の統合移動による「立体 MaaS」の実現を目指します。



(3) Suica の進化による、「くらしのイノベーション」

JR 東日本グループは、“移動、商業など”に加えて、“医療、住まい”などの分野にも Suica を機能拡大することにより、先進性・魅力価値向上に資する都市生活を実現していきます。

① 「TAKANAWA GATEWAY Clinics Medical & Life Design Hub」では、Suica を診察券として活用することで、患者さまは 1 つの Suica で複数のクリニックを受診できるようになります。

将来的には Suica は健康・医療分野へと価値を広げ、PHR（パーソナルヘルスレコード）を活用した一人ひとりに最適化された今までにない健康サービスの提供を目指しています。

例えば、ビジネス創造施設「LiSH」から生み出された睡眠・食・運動機能向上などのサービスを提供し、そのサービスは「スマート健康ステーション®」のオンラインネットワークを通じて広域品川圏及び日本各地に展開されます。



TAKANAWA GATEWAY Clinics
Medical & Life Design Hub
ロゴマーク

② TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE 内の共創型住居「Link Life Lab」では、Suica と連動したスマートホーム設備に加え、ビジネス創造施設「LiSH※」に入居する企業が持つ先端サービスやロボティクスを住戸に導入し、睡眠や腸内環境の計測設備を備えます。得られた生活・健康データはクリニックや街の商業施設等と連携し、個別の睡眠・運動・食の提案につなげます。

Suica を通して、移動・健康・生活がシームレスにつながる先進的なライフバリューをこの街から創出します。



街の施設の相互連携イメージ

※「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」の略称。

3. 魅力的で上質なナイトタイムエコノミーエリアの形成

広域品川圏では、OIMACHI TRACKS、TAKANAWA GATEWAY CITY、WATERS takeshiba の 3 つの象徴的な広場・水辺空間を一体的に活用した都市型文化ナイトフェスを開催予定です。3 拠点を横断して展開される夜間イベントや光演出、エンターテインメントプログラムと連動しながら、東京の伝統・食文化・アート・エンターテインメントを多面的に発信する「Beer & CRAFT SAKE Fes」を 9 月、「Greater Shinagawa Cinema Fes」を 10 月、「Greater Shinagawa Stella Week」を 11 月から、そして周年祭でもある「Tokyo Culture Week」を来春に、それぞれ計画しており、国内外の来訪者を惹きつける“広域品川圏ならではの文化体験”を創出します。広域品川圏を舞台とした都市文化の実験場であり、新しい東京の夜をつくる取り組みです。

上質なナイトタイムエリアの形成



4. 広域品川圏、都市防災・BCP 強化に向けた取り組み

広域品川圏では、地域の安心・安全を確保し、災害時にも都市機能を維持できる「強靱な都市レジリエンスの実現」を目指し、エリア価値向上に資する地域防災の取り組みを進めています。

(1) 来街者や地域の皆さまの心豊かなくらしを支える BCP 対策 (TAKANAWA GATEWAY CITY)

TAKANAWA GATEWAY CITY は、BCP 対策として、JR 東日本の自営電源を用いた複数系統に加え、緊急時には外部電力会社からの供給にも対応できる多重バックアップを取っており、かつそれらが消失しても、**72 時間滞在可能な非常用発電機**を装備しています。

(2) 品川区との防災協定の締結 (OIMACHI TRACKS)

OIMACHI TRACKS のまちびらきに際し、品川区と「災害時における民間事業者施設の使用に関する協定」を締結しました。この協定は、大規模災害発生時には、来街者や地域住民の安全確保と迅速な支援体制の構築を目的としており、OIMACHI TRACKS は広域避難場所や帰宅困難者受け入れスペースとしての役割を担います。「地域防災力向上」のため、品川区と共創し、さらなるエリア価値向上に貢献していきます。なお、OIMACHI TRACKS においても、JR 東日本の自営電源を用いた複数系統に加え、非常用発電機を備えており、約 3,000 人の帰宅困難者が 72 時間滞在可能な施設となります。

5. TAKANAWA GATEWAY CITY グランドオープン OIMACHI TRACKS まちびらき

広域品川圏の中核を担う 2 つの街、**TAKANAWA GATEWAY CITY**と**OIMACHI TRACKS**は**同時開業する 3 月 28 日から様々なオープニングイベントを展開**します。

約 1,500 機による圧巻のドローンショーや、山手線を活用した特別な文化体験ツアーなど、新たな文化発信やテクノロジーを感じる多彩な催しで、来街される皆さまと共に、新たな街の誕生を祝します。

(1) OIMACHI TRACKS まちびらき記念

1,500 機のドローンが大井町の夜空を彩る「TRACKS OPENING DRONE SHOW」

まちびらきの夜に、**約 1,500 機のドローンによる圧巻のショー**を実施します。大正の昔から大井工場で行くつもの列車が整備され走ってきた記憶や、広域品川圏・OIMACHI TRACKS の魅力等を 3D で立体的に描く 20 分間の天空ショーをお楽しみください。

日時：2026 年 3 月 28 日 (土)

一回目：19:00～(予定)

二回目：21:00～(予定)

場所：OIMACHI TRACKS 内 TRACKS PARK



(2) TAKANAWA GATEWAY CITY グランドオープン記念

文化の物語と未来をめぐる山手線プレミアムツアー「FUTURE GATE TRAIN」

高輪ゲートウェイ駅まで山手線をほぼ一周する特別列車「FUTURE GATE TRAIN」を運行します。MoN Takanawa: The Museum of Narratives の総合プロデューサー：小山薫堂氏の監修のもと、**未来を創る多彩なゲストとのトークやアクティビティ**をお楽しみいただく特別なツアーです。山手線の車窓から広がる風景と共に東京の文化的魅力やよい未来づくりを感じるひと時をご提供します。



日時：2026 年 3 月 30 日 (月) 午後 (予定)

※詳細は 3 月上旬に TAKANAWA GATEWAY CITY の公式 WEB サイト等で発表します。

(3) 高輪・大井町 2 拠点で展開される「音楽」と「光」のパフォーマンス

TAKANAWA GATEWAY CITY と OIMACHI TRACKS の 2 拠点を回遊して楽しんでいただける、「音楽」と「光」のパフォーマンスを開催します。高輪ゲートウェイ駅～大井町駅は京浜東北線で 2 駅・約 5 分。ぜひ 2 つの街を行き来してエンターテインメントをご堪能ください。

① TAKANAWA GATEWAY CITY

貨物コンテナをリノベーションしたスペシャルなポータブルステージが、街の広場で DJ プレイやライブパフォーマンスを展開。世界的に注目されている 10 代の海外アーティストや、高輪ゲートウェイ駅で好評を博している EKIKA DJ に出演のアーティストなどが登場し、昼も夜もにぎやかに街を盛り上げます。

【TAKANAWA GATEWAY SPECIAL LIVE (仮称)】

日時：2026 年 3 月 28 日 (土) ～4 月 26 日 (日) 14:30～、18:00～ (予定) 開催日により変わります。

場所：TAKANAWA GATEWAY CITY 内 Gateway Park・高輪ゲートウェイ駅南改札外 3 階テラス (予定)



② OIMACHI TRACKS

夜を鮮やかに彩るプログラムとして、プロジェクションマッピングを開催。光と映像が織りなすダイナミックなプロジェクションマッピングが大井町の夜に新しい物語を描き出します。

【OIMACHI TRACKS LIGHT TRAIL】

日時：2026 年 3 月 28 日 (土) ～6 月 1 日 (月) 18:00～23:00(予定) ※初日のみ 19:20～

場所：OIMACHI TRACKS 内 TRACKS PARK、CROSS PLAZA、STATION PLAZA



ほかにも、TAKANAWA GATEWAY CITY と OIMACHI TRACKS の開業を祝した多彩なイベントで皆さまをお待ちしております。詳細は、別紙をご覧ください。

(4) 文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」開館

TAKANAWA GATEWAY CITY には、文化創造・発信拠点「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」が誕生します。

「100 年先に文化をつなぐ」をミッションとする文化の実験的ミュージアムでは、伝統芸能や漫画・アニメ、音楽、食などの日本文化に最新テクノロジーを掛け合わせ、他に類を見ないジャンルを超えた展示やパフォーマンスを展開します。

開館記念テーマは「Life as Culture - 生きるは、ブンカだ」。「ぐるぐる展ー進化しつづける人類の物語」や新しいマンガ体験「MANGALOGUE (マンガログ) : 火の鳥」など多彩なプログラムや桜の映像と和楽器の生演奏に包まれながらお茶を愉しむ「春うらの茶会」など、祝祭感ある各種イベントで新たな文化体験を提供します。



(5) 土地の記憶を未来へつなぐー広域品川圏の歴史資産再生プロジェクト

① イノベーションスピリットの継承「THE FIRST RAILWAY PROJECT」

日本初の鉄道が走った歴史を未来につなぐ取り組みとして、鉄道開業期のイノベーションスピリットを受け継ぎ、次世代へと伝えていく「THE FIRST RAILWAY PROJECT」を始動します。プロジェクトの重要拠点となる高輪では、2026年3月より国指定史跡である高輪築堤跡の第7橋梁部および公園部の現地保存・公開工事に着手し、2027年度の公開を目指します。さらに、TAKANAWA GATEWAY CITY グランドオープンに合わせ THE LINKPILLAR 2 内にギャラリーを開設し、鉄道開業の歴史や高輪築堤の発掘調査および文化財とまちづくりの両立に向けた取り組みを、模型や年表、記録映像などの展示で紹介します。

日本の未来は、
ここから走り始めた。



THE FIRST RAILWAY PROJECT
ロゴマーク

② 創建時の記憶～レンガ壁の移設・保存～

本開発に伴い東京駅開業の翌年の大正4年建設のレンガ車庫の壁面の一部（約40m）を、OIMACHI TRACKS BUSINESS TOWER 1階に移設・保存しました。施工にあたっては、本開発工事の施工者である竹中工務店の特許技術である「モルトール®」をレンガに応用し、レンガひとつひとつを再生。状態のよいレンガは表層部に再利用することで創建時の風合いを可能な限り継承しています。さらに、創建時の鋼製サッシなどレンガ以外の部材についても、記憶を留める貴重な要素として再利用しました。



【参考】

「広域品川圏」における当社グループ保有のビル床面積約150万㎡、営業収益1,000億円超/年

